

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫨谷町松木 234 番地

川崎重工業（株）精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内

TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

JIMTOF 第 1 回協賛団体説明会の開催

1. 日 時 2021 年 8 月 19 日（木）13:25～

2. 場 所 機械振興会館 6 D-4 会議室

東京ビッグサイトの津国常務取締役の挨拶の後、（一社）日本工作機械工業会の柚原専務理事から、以下の挨拶があった。

1 年余りに迫った JIMTOF2022 を成功に導くため、協賛団体及び各位と志を同じにして取り組んでいけたらと思う。よろしくお願い申し上げます。最近の工作機械受注は、新型コロナウイルスの感染症拡大により、繰り越されていたペントアップ需要の発現に加え、エレクトロニクス分野での投資継続、自動化ニーズ、サプライチェーン分散化の動き等を背景に回復基調が進んでいる。7 月の工作機械受注総額（速報）は、前年同月比 93.4% 増の 1,349 億円で、9 カ月連続の増加となった。

多くの国々で新型コロナウイルス感染症の完全収束を見通せない状況が続き、また、米中対立の長期化、アフガニスタン情勢の混乱など、先行きには依然として不透明感がある中、ユーザー産業の強い設備投資ニーズに支えられ、工作機械の受注状況は総じて順調に推移していくことが期待される。



会議風景

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

JIMTOF 第 1 回協賛団体説明会の開催・・・1	統計資料・・・・・・・・・・・・・・・・・7
委員会開催・活動状況	
標準化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・2	
技術調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・4	
広報・PR 事業・・・・・・・・・・・・・・・・・4	
今後の主要行事予定・・・・・・・・・・・・・・4	

また、日本のものづくりを支える製造業界の社会的認知度を、さらに向上させる企画・イベント等を積極的に盛り込み、「業界の未来を担う人材発掘・育成」にもつなげていきたい。収束を見通せない状況が続き、また、米中対立の長期化、アフガニスタン情勢の混乱など、先行きには依然として不透明感がある中、ユーザー産業の強い設備投資ニーズに支えられ、工作機械の受注状況は総じて順調に推移していることが期待される。

一方、工作機械産業を取り巻く環境は、社会・経済が不確実性を内在している状況にあっても、製造業のイノベーションが着実に進んでいると実感する。ロボットと周辺機器を組み合わせた自動化技術の進化、5Gを活用した多数機器の周辺接続の普及、デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速、カスタマートランスフォーメーション（CX）の台頭が起きている。また、地球環境問題への対応のため、全世界的にカーボンニュートラルの取り組みが進められており、自動車産業では電動化に拍車がかかっている。こうした変化のうねりをしっかりと捉え、ユーザーニーズとして適応していくことが、工作機械業界の成長にとって、必要であることは論を俟たない。これら多様化するニーズに対し、JIMTOF では、内外の有力メーカーを一堂に集め、あらゆる製造現場の要請に即したハイエンドマシンや、先端テクノロジーを展示し、ユーザーの価値創造に貢献する「最適なものづくり」「変化に適応する、ものづくり進化」を一堂にソリューションすることを目指したい。

この後、次回の JIMTOF の概要について審議され、事務局案で進めることとなった。

会議の後、記者発表を行った。



JIMTOF 詳細は、HP 参照してください。



(会期)

2022 年 11 月 8 日～11 月 13 日（6 日間）

(場所)

東京ビックサイト全館

(出席団体)

日本工作機械輸入協会、(一社) 日本鍛圧機械工業会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、(一社) 日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、研削砥石工業会、ダイヤモンド工業協会、日本光学測定機工業会、(一社) 日本フルードパワー工業会、(一社) 日本試験機工業会、(一社) 日本歯車工業会、(株)東京ビッグサイト (一社) 日本工作機械工業会

～～～～～～

標準化事業

～～～～～～

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 8 月 5 日(木) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 難波主査以下 5 名(うちリモート:5)

事務局 浦井・前畑

議 事

前回議事録の確認後、技術標準化委員会 (7/5) の報告があった。

次いで、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/DIS_16889.2 コメントの PL 回答に対する賛否→賛成、ISO/SR_21018-1 結果に基づく改正に対する賛否→賛成、ISO_23309 改正内容の賛否→賛成、ISO_11500 の CD 投票→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、中国提案 (Filter Elements Guidelines) の新規プロジェクト答申に対する賛否→反対、ISO_12829 定期見直し→確認、ISO_4407 の CD 投票→コメント付き賛成、で各々投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、ISO_18413 の JIS 化について、各委員の担当範囲を決定すると共に、原案作成作業に着手した。

次回開催：11 月 11 日、機械振興会館+リモート

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 8 月 24 日(火)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 浅里主査以下 7 名(うちリモート:7)

事務局 浦井・前畑

議 事

前回議事録の確認後、技術標準化委員会 (7/5)

の報告があった。

次いで、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO_5598 改正の意見収集→特になし、ISO_11619 の UV テストに関する質問→日本での実施状況に基づいた回答、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、過日 (6/9) 開催された ISO/TC131/SC4/WG9 国際会議の報告があった。

次いで、JIS_B8381-1 改正原案について規格協会から指摘があったため、対応検討し原案を修正した。

次いで、JIS 定期見直し調査について討議した。3 件の対象案件に関し、各々、JIS_B8381-1→現在改正中、JIS_B8381-2→再来年度改正予定、JIS_B8674→改廃せずに継続、にて回答することとした。

次いで、空気圧流量測定分科会で審議中の JIS_B8390 (空気圧一圧縮性流体用機器の流量特性試験方法) の改正について、当分科会で担当している JIS_B8381-1 (空気圧用継手—第 1 部：熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手) との関連性から改正要望事項を流量測定分科会へ提出することとした。

次回開催：2 月 8 日、機械振興会館＋リモート

油圧ポンプ・モータ分科会

日 時 8 月 25 日 (水)、13:30～16:00
場 所 械振興会館 JFPA 会議室＋リモート
出席者 加藤主査以下 10 名 (うちリモート:10)
事務局 浦井・前畑
議 事

委員の交代があり、不二越：山田健治委員から鈴木健吾委員に交代された。また、KYB：高橋雄一委員が新規に就任された。

前回議事録の確認後、技術標準化委員会 (7/5) の報告があった。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、10 月開催予定の ISO/TC131/SC8/WG13 国際会議の議題について討議した。国際会議までに、各委員の意見を収集することとした。

次いで、JIS 定期見直し調査について討議した。5 件の対象案件に関し、各々、JIS_B8350-1→改正要否を検討、JIS_B8350-2→改正要否を検討、JIS_B8350-3→改正要否を検討、JIS_B9939-1→改廃せずに継続、JIS_B9939-2→改廃せずに継続、にて回答することとした。

次回開催：11 月 16 日、機械振興会館＋リモート

空気圧流量測定分科会

日 時 8 月 26 日 (木)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート
出席者 妹尾主査以下 8 名 (うちリモート:8)
事務局 浦井・前畑
議 事

前回議事録の確認後、技術標準化委員会 (7/5) の報告があった。

次いで、新規投票案件について審議し、ISO/SR_6358-1→Revise/Amend、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、先般開催の ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議 (5/17：ウェブ会議) 及び ISO/TC131/SC5/WG3 国際会議 (6/10：ウェブ会議) の報告があった。

次いで、次回開催の ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議 (10/5：ウェブ会議) において、日本提案プレゼン内容の確認と検討を行った。

次いで、JIS_B8390 シリーズの改正について討議した。継手チューブ分科会で担当している JIS_B8381-1 との関連性による改正必要項目について検討した。

次いで、ISO_6358-1 追補 Annex の JIS 化に関して、具体的な原案内容について討議した。

次回開催：11 月 18 日、機械振興会館＋リモート

油空圧継手・ホース分科会

日 時 8 月 30 日 (月)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート
出席者 岩崎主査以下 6 名 (うちリモート:6)
事務局 浦井・前畑
議 事

委員の交代があり、ニッタ：間口雄太委員から小山修平委員に交代された。

前回議事録の確認後、次いで、技術標準化委員会 (7/5) の報告があった。

次いで、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO_6149：マイナー改正決議の CIB 投票→Yes、ISO_12151-2：コメントの PL 回答可否の CIB 投票→Approve、ISO_5598：用語改正に関する意見収集→No (なし)、ISO_12151：CD スキップし DIS 移行是非の CIB 投票→Yes、ISO/SR_12151-6：定期見直し投票→Confirm、ISO/SR_18409：定期見直し投票→Confirm、ISO/CD_7241：CD 投票→Approval、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/FDIS_12151-3：FDIS 投票→Approval、ISO/SR_12151-1：定期見直し投票→Confirm、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、10 月開催予定の ISO/TC131/SC4/WGs 国際会

議（10/6, 19, 22）について、各会議のアジェンダを確認しながら対応について討議した。

次いで、JIS_B2355-2（油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手—0 リングシールによるメートルねじボルト及び継手端部—第2部：高圧用（S シリーズ）継手端部—寸法・設計・試験方法・要求事項）の改正について討議した。対応国際規格（ISO_6149-2）と比較しながら修正作業を行った。

次回開催：11月9日、機械振興会館＋リモート

＊ISOの動き

ISO 国際会議に関して、2021年11月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ている。

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第581回特許分科会

日時 8月20日（金）13：30～14：20

場所 Web 会議

出席者 安田幹事以下3名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について1件について正式な簡易見解書が提出され、今回をもって調査を終了することとした。1件については引き続きウォッチングを継続することとした。1件について簡易鑑定書が提出された。

次回開催：9月10日（金） Web 会議

第5回 IoT 推進部会設立準備会議

日時：08月30日（月）11:00-12:00

開催方法：Zoom によるビデオ会議

出席者：満嶋弘二部会長以下6名

事務局：大橋

議 事：

年度計画（案）の策定と第1回の日程計画を決めた。第一回は、参加メンバーに対して、部会の趣旨説明と今後の進め方についての意見交換、第二回は、経済産業省からものづくり白書に関して、日本の現状と課題、これから実施すべき事等に関して、解説をお願いすることとなった。

今年度は、今後3回程度の開催を予定している。

~~~~~

#### 広報・PR 事業

~~~~~

第131回編集委員会 WG

日時 8月4日（水）10：30～12：00

場所 Web 会議

出席者 宮主査以下9名

事務局 大橋

議 事

1. VOL. 35 進捗報告及びVOL. 36 年間記事企画

2021年夏号・IFPEX 特集号が、2回の発刊日延期を経て8/20に入荷見込み（990冊）であり、秋号も入稿し始めていることを報告。また、2022年VOL. 36の年間企画表にて、今後の記事予定を事務局から説明した。空白だった記事分類も大半が埋まってきているが、会員企業の窓、ずいひつの未定号がある。

2022年春号・秋号の水素エネルギー特集に関して、各4編の記事構成案に基づき寄稿依頼を打診する担当委員を決めた。併せて、今回の記事提案中の水素関連記事についても報告を受け、特集に組み入れていくこととした。

2. 記事提案

各委員から記事提案の説明を受け、事務局にて来年号の企画に反映していくこととなった。前回、編集委員会後に小山紀顧問から提案を受けた2記事は寄稿依頼済みである。

3. その他

次回開催：第100回本委員会、第132回WGは2021年9～10月を目途に別途調整する。

~~~~~

#### 今後の主要行事予定

~~~~~

☆10月6日（水） IFPEX 開会式

☆11月11日（木） 西日本支部総会
理事懇親会

☆11月12日（金） 親睦ゴルフ会

☆12月22日（水） 政策委員会

※2022年

☆1月12日（水） 第93回理事会
2022年年初会

☆3月25日（金） 政策委員会

☆4月22日（金） 第94回理事会

☆5月19日（木） 第23回定時総会

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

8 月に開催された当会各委員会に出席された皆様
は以下の通りです。(敬称略)

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

(標準化事業)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 8 月 5 日(木)

出席者

主 査 難波竹己(日本ポール)

委 員 遠藤剛(SMC)

〃 水落桂(大生工業)

〃 長谷川康憲(油研工業)

〃 三好真介(MORESCO)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 8 月 24 日(火)

出席者

主 査 浅里信之(ニッタ)

委 員 岩崎宏文(イハラサイエンス)

〃 高梨暁人(SMC)

〃 大場良太郎(コガネイ)

〃 井戸田健(CKD)

〃 細谷映之(アオイ)

〃 八手又秀浩(日本ピスコ)

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 8 月 25 日(水)

出席者

主 査 加藤弘毅(KYB)

委 員 黒川道夫(イトン)

〃 吉村勇(川崎重工業)

〃 高橋雄一(KYB)

〃 庄司忠史(ダイキン工業)

〃 辻井喜勝(タカコ)

〃 三浦恵史(豊興工業)

〃 鈴木健吾(不二越)

〃 八文字利朗(ボッシュ・レックスロス)

〃 宮田拓也(小松製作所)

空気圧流量測定分科会

開催日 8 月 26 日(木)

出席者

主 査 妹尾満(SMC)

委 員 川端啓之(アズビルTACO)

〃 森本光一(コガネイ)

〃 大竹崇(CKD)

〃 水上秀彦(TAIYO)

〃 浅里信之(ニッタ)

〃 香川利春(東京工業大学)

〃 眞田一志(横浜国立大学)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 8 月 30 日(月)

出席者

主 査 岩崎宏文(イハラサイエンス)

委 員 間口雄太(ニッタ)

〃 小山修平(ニッタ)

〃 辻田智(日東工器)

〃 石井克昌(横浜ゴム)

〃 横岡慎吾(ブリヂストン)

(技術・調査事業)

技術委員会空気圧部会第 581 回特許分科会

開催日 8 月 20 日(金)

出席者

幹 事 安田善仁(甲南電機)

委 員 今野英俊(コガネイ)

〃 細田一也(CKD)

第 5 回 IoT 推進部会設立準備会議

開催日: 8 月 30 日(月) 11:00-12:00

部会長 満嶋弘二 部会長(KYB)

委 員 兵藤訓一 油圧部会長(東京計器)

〃 鶴賀寿和(CKD)

〃 石井哲也(川崎重工業)

〃 村上泰洋(東京計器)

(広報・PR 関連事業)

第 131 回編集委員会 WG

開催日 8 月 4 日(水)

出席者

主 査 宮 能治(KYB)

委 員 本間伸一(SMC)

〃 豊田敏久(川崎重工業)

〃 小辻一雄(コガネイ)

〃 松川正克(阪上製作所)

〃 山田真の介(TAIYO)

〃 安永和敏(東京計器)

〃 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)

〃 宮坂 篤(油研工業)

～～～～～～～～

月間行事概要

～～～～～～～～

<8 月>

4 日(水)

・ 広報・PR(委)編集委員会 WG

- 5 日（木）
・標準化（委）油圧フィルタ・作動油分科会
- 20 日（金）
・技術（委）空気圧部会第 581 回特許分科会
- 24 日（火）
・標準化（委）空気圧継手・チューブ分科会
- 25 日（水）
・標準化（委）油圧ポンプ・モータ分科会
- 26 日（木）
・標準化（委）空気圧流量測定分科会
- 30 日（月）
・標準化（委）油空圧継手・ホース分科会
・技術・調査事業 IoT 推進部会設立準備会議

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
